毛吹草 巻一

才一

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]又武臺[illegible]
[illegible]
[illegible]

四倉ハ白砂ヶとゝ
まさかゝの一の松うへ道
の方ゝくかりうゝつゝ
きたいこゝ山ハ白ゝいしかの
かるゝ者ゝ米沢ゝ色ゝ
ゝのゝ道すゝゝゝのゝ山ゝ
ゝゝい梅ゝ者のゝ黄梅白
梅ゝ者もゝゝゝゝまりゝ
ゝゝゝゝくゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ

霧立つけさ花燈を見くハ指
投籠の詩膳のとゝさきに
人皆色をとゝとゝ[illegible]ハ源氏
鄭の文こう投るくハ嘆する年の
[illegible]を[illegible]ハ[illegible]
世のるゝひあらきなくこゝろ
抑此賀出集そるを[illegible]
はん白秋のうをくゝ指合たゝ
十一次て人田秋よの月意の月
同連歌の月も遠加[illegible]
今めゝこゝの也相又世流の
月ハ[illegible]

付合なるをゝ[illegible]の[illegible]
[illegible]月指[illegible]
付白ハ太子集の[illegible]人の[illegible]
[illegible]の白[illegible]
[illegible]
人間とゝろ[illegible]
[illegible]
[illegible]人の月乃
[illegible]
[illegible]

へる皇と云るもし云ふ也こ
と一ハ寶永五文度成寅五
月と所ゝ藏と云もしめんす
ゝさうひかすへて春日の秋ハ
ゝ所る虎のあるとひとゝく
付句とのへと孤狸を國平乃
ゝのゝりは用しまて曙月
後の月見ゝ大もの見まる
しどゝろね

一連歌付俳諧付差別の事
てゝをゝ紙ゝゝゝゝ付ゝゝ
物ゝゝゝ　小指　蓋ゝ貴
八重ゝ付　扇茶　蜂　若細工　武木
俳諧付也ゝ　おゝゝゝ　碁港
畑ゝ　八重ゝ付　碁　雙六盤
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
一元ゝ付小ハ指ゝゝゝ　紅葉
梅　妹ゝ付ゝ八重ゝ付　蘭盆人
月越ゝ　俳諧付ゝ　ゝゝゝ
ゝ　樵夫　ゝ八重ゝ付　るゝ　水
孔雀　近尼　印　引ゝ
地俳諧ゝ八姫ゝゝ　梅　卯花
葉ゝ重ゝ付　本樵　四木　ゝ

角豆ハ
青蔕四を結ハ
可為暢怕ハ 紙法付へ
せばして主の結合と始と以
まんばんに一紙
一句主のみして紙に
時より

花とをる
月の
水のうつて
風ふひく

ハ漢云ハ人の
漢云ハ
一古き集可洞出ハ
用ハ
人の
ハ百

とゝ[illegible]るいいゝ[illegible]ゆゝん思惟（えゆい）ー

[illegible]

一俳諧ゝ[illegible]ゝのゝとゝ又毋ゝて五と
いゝゝゝる故へゝしゝさあるゝと迄ゝ師
の俳諧ハ迄（まで）ゝ[illegible]ゝ云人ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ但無ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ハ故あゝゝ幸ゝゝやゝゝゝ[illegible]ゝ
師ハ他の[illegible]ゝて俳
諧ゝ[illegible]ハ特ゝ[illegible]
ゝすゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
句ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝてゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

花さけハ横雲もすゝ　巻菊

巻百合ハ接尾もさゝ合ハ
酸酸味や竹の文の水ハ
酸酸味とく知やまゝ
みゝ殺やとゝくのむ蛇
雪毛のさゝんとやいゝん富士の雪
いゝ所のさゝハの葉ゝ秋の風
花や根よさゝくくのさゝの雪
田舎うゝふゝ花ゝゝ時雨
夏の雲花ゝゝゝ郭公
久くまこにゝまこハ雲の雲花郭
明ゝゝ花ゝハ海ゝゝのひゝまこハ
風の雨の旅ハ蔵ハ蔵ゝの雨
風の雨と新ゝゝる蔵ゝの
ゝの秋ハ野の付蔵の海ゝ

花の白いとゝ花をゝゝ
ゝ花ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ

次の句はたゞことばにて作さうの
句ゝさまはいとのたんとのつのみる
い親乃句ゝ高位ゝと云めく
すのゝとゝ俗りんゝと待ゝ也らく
雪ゝゝ雪ゝいゝゝゝとゝゝ
ゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
句ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
句月はいとゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ

さる八月のつごもりのこと[illegible]
しく[illegible]せさるる
あかれてくるのたえ月
うつうすて来ぬ月のるあ
三ヶ月やつるりの風ふきんの
月をはなて川や潟の車
れの秋やるのてきうる
月ようけてそうやうう
色うんの生う月をの伊勢
ををけ風のうう月後
大原をかをのう月
まを板の嘉
一おのうんをもう
尺ものをうをう
けるの門の五

[illegible]

一五月雨いとまなく

はるの夕やみ[illegible]

なりて人[illegible]

[illegible]

一[illegible]

四方に[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一五月十三日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一思惟[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一濃雨下旁うた

[illegible]

風や相撲のうさうの柳

[illegible]

けるきんたんわくのうら

いさとりはやひさの酒の香

うひうてうひうて[illegible]ひうの新の形[illegible]

みて萩のむのまうさいうさ

せの今打つやうのうすしうて

錦雲[illegible]

一河辛情うた

[illegible]

ひうりのうの[illegible]

山ちやうさうの月の解うひ

一放悔うた

四人橋せとみ

風のもやうのうちうちうた

むとうもうさうの藁

一初てはくしうさた

[illegible]

教うくはうの[illegible]

山の猪や[illegible]月の射而[illegible]

[illegible]

[illegible]

中月の二[illegible]

[illegible]

[illegible]

服中のひとを訪やらいの歌

羽根潟ゆくくれの景色あるる白
雪にて雪の花とかぞへ梅の花
大雪に梅をうつさぬ梅の花
雪のいろ花の風の日和ゆ
れくるを梅の河ゆかぬこれ
そこに吹もむすぶ行ゆく風の
第木の花の文うる雪もこうか
降ゆき日いくこ雪の降れ
右之白花之野梅とあるを
ちり雪や雪に降のさく梅の
といひ大雪ふとくあくあくと雪
ますけさといひ雪よりもとを
ふるといひむの河ふとあるを
なれはふといひそとふくとを

降ゆき日は雪花とあるを
てくれ日や風といはんの雪の
あはよいくく降を雪なるへ
なれと一樹ゆかぬへうれ
一樹文 羽根潟のえんをして見人
の雪をあるる
みてもくみさあれをあやさくむ
眼目をもくあむのさうれ
花の枝もあるさくとあるを
ひくあやあのあいあるあ
一雪さ羽ゆ云初ひ降ひ降とあ
しくくもむを八うきうあ
そみ中ひい天より梅さて降て
のゆくくをあくて海よ毎
まくてくくうのあくを

うくひとるんさまは初の中ゝの
句と弥人の上句作る
まとゝ増ゝそ云ふとゝ
見とおの句ゝして付句ふ年始
の発句生の所る長延るの歌
はゝ書ゝの云書ゝ
牡丹とい方に主ゝ方に主ゝ
有る句中ゝ云へ
云ゝ方ゝ有ゝ
見ゝ人ゝ主ゝ見ゝ
あゝ牡丹庇とゝ
のゝ有ゝ有ゝ
月花ゝ園の鑑とはゝて
ゝ主ゝ
月中ゝ有ゝ

有ゝ主ゝ方ゝ
ゝ方ゝ
ゝ人ゝ主ゝ
ゝ方ゝ
ゝ
月中ゝ有ゝ
日ゝのゝ
太ゝ
ゝ代ゝ
右ゝ月
一人ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ
ゝ

うしろこそ行くゆくすえ
見めぐる花の花にうぐいすとうきと
陣子のうち鶴もと京のあるまり
如うりゑん之武士
京都まいらうろこ同一の答
右之句を四之しくまさうろや
一口に付とく古来極位付
もうをを申しかしてそこへい
と作ろう名誉の人はゆかを
ものをまをを筆系うも鶴
さたんとはんしへ切れた付乳
道具はまさうはく一句もく
くしく中し作るこ者こ句を
筆一文をまるこうろわそ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

雪ふれば枝いかるんと雪の
めぬ付のけしきなるこそ心憎こそ
なれとて

一百首歌そなへて

一四くさ春百首

雪ふるやうるふ年の初雪
旨人の至誠の稚き秋の月
捏炎は法なりぬ猫の川法か
とうく女の分こそはしれ
佛まハ何しいさハ数ぬ
なりされて切ハ蘇枝の雪
雪ふるさゆるふし鶯さうる
ちるさくとも花とくるる
月やなりれ塔ちわうん

一眺百

ふ山ふ山ふ山

一云　云

[illegible]

一云歟

[illegible]

一[illegible]人

[illegible]

一世話（セワ）

[illegible]

一秀句

[illegible]

原ゆきの月さと春やこころ
情のものやきりくハ今ゆ梅り
出てしら剣の梅ころひさぎ
梅木の名残つくろふ鶯の色
まろとまつさくるこのやまひろ
如定家ハ二月きさらんと春ハまりて

一剣のえん

ゆるハ梅よりみをとてやなひ色
手いくさ文武二乃の梅ゆ
あきこゆやなの色ゆやあや梅

一剣えん通

秀吉公 唐土こゝ
かくこゝろけきみやてきこゝ
合ものをハきくゝゆるんのこ梅

一五名相通

逢ゆはいりふをあのみこゝ
ゆけハ明まものの入谷のうゝ
ゆ梅とゆたにゆくゝやむ梅の

重剣

ゆるの初春でれこゝ初慶ゆ
白波を白波やれゝゆ春の春
ぬくゝ人とぬくハ三のゆきつゆ
月八月ゆ月八月ゆ今こんゆ

一松尺

天神て梅よまゝこゝ初ゆ
法花法て学ハなさ学て作

一ゆ余松尺

ゆの水とゝあ新春のゝゆ
花のこゝて梅ゆ春の春
こゝ法てゝ作のこひゝん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一てふとを添へる白

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一句と聞へたる白

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一五八

川ぬりや海しほやうそのこ
一志こうら一ゑ云よ
名産しらす人志 茶湯作や
ムロしなりろろ人四十二の図
南りろ湯ふしこ やうナ二弁

一源氏

みしらぬ人を一花ちろこうか
鼻ぬ穴むあるまこうろ泉

一名物

茶茶ぬ茶や月茶氣のこうろ
山科の名茶や見もあり漆
硯 敬味やむ 竹の子ちりもん
今ちりハ海の間通とやうてま
油とうけさ名ものめんあきちひ

花の科ハ何のぐらすぐ藤の科
宮もふて行よすろやがさこけ
すめ代るまおこれハ殿人の間ぎ
ちこめかハ志ガラ碓石杵の当

一射物

物ろるやとめん柳のさわき鷺
鹿間廣ろ名竜おかハ本杵ろ碓ろ弁
猫目の膳でくりや蔦こけ
武蔵野蛍あろりろ富士の当
家ちなろ半ろ嫁にろり
人ろひあをけしといえまて
何とてこたて湯の華くあ尾
むあろこくをすをもたろ
鴨川を清ろ紅あてそ物ろ
ろ袴とハ打とやりよろ

[illegible]

一文字

いさのまん寺に危の花乃塔
みなもみな八重八重の雲の
なかに明るまてや雲
をなくる寺のゆみ
ふなの兵山のみさをいらそ
風と寄ふのそらりめる
川のなりよ半八重雲
山陰のしまの乃や出めるん

一週文

[illegible]
なくさうなるそそるの風雲
きりの夫よ寺るを[illegible]の月

[illegible]
松やそそるなるよそたてまを桜鶯
国月もあるまやいそめさそるの
いりそよ明てめらん浦そそ
寺松山をそそるをまるそ
軒ゑまを作るそ雲水の雲
はそいはのそよ[illegible]
かのくそ東北掘よひうり
砧よ明月人丸ねそん

初潮乃なにいのりそそるよ
うりけるそ人よんぐそ
乃のそそそも乃ハ海の雲
鶏舎や東北老さやのさひそ

詩そく羽

月新八年き[illegible]や西老門
風を松て[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一貫数と称す

今年の年貢米ハ[illegible]

[illegible]ハ八十一俵[illegible]

なりしかハ十つゝナやり[illegible]

一十鞘十二枝

年々ひつ紙[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一連歌所

[illegible]

十月八日[illegible]

[illegible]枝連[illegible]となる[illegible]

[illegible]

[illegible]の社[illegible]

[illegible]

武用

一 雖諸乃接合宜敷 和漢の法
を用ゐる当代を初めても大
同小異ゆゑ彦ゆゑ
一 十匁内禁制 速歌を用
一 休用之事 同前
一 景物多末代 同前
一 茶物吳名紙 外所平宜事
一 きかを面を蹴物 八分七匁
一 用意の八注意 七匁ゆゑ
七匁ゆゑの物八五匁 当也
一 速歌のもとゝ多 陪物ゝ度
弥紙天者 速懐 意 旅 用
一 可隔三匁物ゝ 本と本の
[illegible]
[illegible] 歌 [illegible]
歌 月時ゝ 四ゝ [illegible]
風ゝ嵐 [illegible] 時 [illegible]
一 の通二匁物ゝ事 連歌 三匁
蹴物ゝ 介也 [illegible] 風ゝ 風
風ゝ [illegible] 歌ゝ 来冊 [illegible]
月ゝ 陪物 [illegible] 月ゝ 種物 [illegible]
ゝゝ [illegible] 茶物 [illegible] 人
一 付句ゝ ゝゝ [illegible] 人
尼ゝ 養物 并ゝ 物紙
掃 深ゝ 帝 [illegible] 歌 掃ゝ
潤
一 速歌ゝ不出物 [illegible]
以一 [illegible] 又ゝ
[illegible] 汗一 馬 [illegible] 又一

一胸頭生れ初めこと　茶一　茶海名やちんこと茶二
云て又一　獨ゐたて帯びハ　絶一　ちぢれ　毒クワ名
みなこと　ハ　ちぢれ　毒クワ名　ちこと　門ニ又一
麻一　麻茸　麻ヲ　こと門ニ又一　術毒　指作
めしこと　河ゐたこと　一中ゐたて又一　立
〇

一立茸こと　一立ゐたこと　百こと　和紙作ふ
て　ハ二百ゐたこと　一二百三百四百の
和紙ハ　遠敵の立ゐた作　一すさ
ゐたに用て　宣ゐたこと　きこと　一古
茶こと　制や　作こと　門毒ゐたこと
用指ゐたこと　〇